

音波・電波センサネットワークによる早期災害検出に向けた研究開発

大災害をもたらす地殻運動や気象現象では、人が知覚できない遅い周期の大気圧変化として超低周波音を伴う場合が多い。近年増加している局所的集中豪雨による水・土砂災害では、空間的に精度の高い降雨分布がその予兆を捉える上で有益な情報源となる。上記の災害に関連する情報を取得するため、日常的に周囲にあふれている音波や電波の観測網の実現に向けた研究開発を行う。

